

製品名: ALDH1B1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06760**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	ALDH1B1
別名	ALDH1B1; ALDH5; ALDHX; Aldehyde dehydrogenase X; mitochondrial; Aldehyde dehydrogenase 5; Aldehyde dehydrogenase family 1 member B1
遺伝子 ID	219.0
SwissProt ID	P30837
免疫原	抗血清はヒト ALDH1B1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 311-360

背景

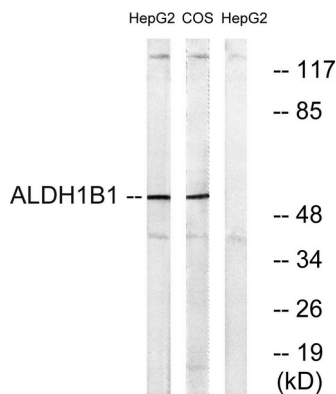
このタンパク質はアルデヒド脱水素酵素ファミリーに属する。アルデヒド脱水素酵素は、アルコール代謝における主要な酸化経路の 2

番目の酵素である。この遺伝子のコード配列にはイントロンが含まれない。この遺伝子座の変異は、アルコール関連問題の発症に影響を及ぼす可能性がある。[RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性: アルデヒド + NAD(+) + H(2)O = 酸 + NADH。機能: ALDHは、アルコール由来のアセトアルデヒドの解毒において主要な役割を果たす。それらは、コルチコステロイド、生体アミン、神経伝達物質、および脂質過酸化の代謝に関与する。経路: アルコール代謝; エタノール分解; エタノールから酢酸を生成する: ステップ 2/2。類似性: アルデヒド脱水素酵素ファミリーに属します。サブユニット: ホモテトラマー。組織特異性: 肝臓、精巣、および程度は低い脳。

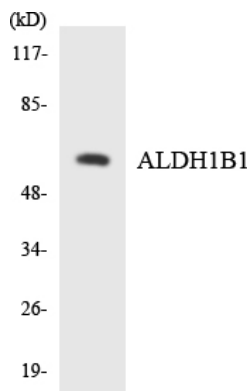
研究分野

解糖/糖新生;アスコルビン酸およびアルダル酸代謝;脂肪酸代謝;バリン;ロイシンおよびイソロイシン分解;リジン分解;アルギニンおよびプロリン代謝;ヒスチジン代謝;トリプトファン代謝; β -アラニン代謝;グリセロ脂質代謝;ピルビン酸代謝;プロパノ酸代謝;ブタン酸代謝;リモネンおよびピネンの分解;

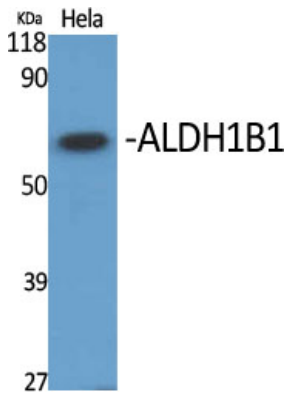
画像データ



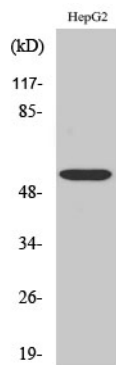
ALDH1B1 抗体を用いた HepG2 細胞および COS 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ALDH1B1 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000に希釈した ALDH1B1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



1: 1000希釈の ALDH1B1 ポリクローナル抗体を用いた COS7 細胞のウェスタンブロット解析